

おかげさまで300号

第 1号 (平成 20 年 12 月号)

「広報いさ」は、1日号と15日号 (お知らせ版)の月2回発行しています。

伊佐市が誕生した平成 20 年 (2008) 12 月号を第 1号として、令和 3 年 5 月号お知らせ版で 300 回目 の発行となりました。記念すべき 300 号を迎えられたのも、取材に協力してくださった方々、自治会などで配布にご協力いただいている方々、そしてなによりも広報いさを手に取り、読んでくださる市民のみなさんのおかげです。心から感謝申し上げます。

これからも、市役所からのお知らせや暮らしに役立 つ情報、まちの出来事など、わかりやすくお伝えでき るよう取り組んでいきますので、どうぞよろしくお願 いします。





民、職員など約300人が町長・議長、県関係者、市

市の門出を祝いました。 露、テープカットなど、新 に開庁式が行われ、銘板披

菱刈庁舎でも同様

西勝喜伊佐市長職務執行

この日は、旧市町長から

▲伊佐市誕生の様子を特集記事で紹介

鹿児島県伊佐市 人口 31,080人

面積 392.36 km

ISA City Public Relations 2008.12.01 2

3

広報いさ 2008.12.01

広報いさ第1号の「まちの話題」で紹介したおふたりに スポットを当て、現在の活躍を追跡取材しました!



日本ラグビー協会公認の A 1 レフェリ-



大口高校ラグビー部監督の細樅勇二さん(大 口)が、日本選手権やトップリーグなど国内最 高峰の大会で主審ができる、全国で18人しか いないA1レフェリーに昇格されました。

細樅さんは同校ラグビー部のOBで、県総体 準優勝・県新人大会優勝に貢献。鹿児島経済大 学時代には主将を務め、「子どもたちにラグビ ーを教えたい」と教員になり、また、指導者に なると同時に「自分の指導に役立てたい」とレ フェリーを始められました。

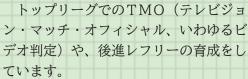
『名門復活』と周りの期待も大きいなか、細 樅さん自身も指導者としての夢も大きく、夢の 舞台『花園』を目指し子どもたちと一緒に日々 の練習で汗を流されています。君も大口高校ラ グビー部で花園を目指してみませんか。

★ 細樅 勇二さん(49歳)

当時を振り返って

懐かしいですね(笑)37歳から43歳まで、日本ラグビーフッ トボール協会公認A1級レフリーとして日本トップリーグで審 判をさせていただきました。

現在は?



また、平成26年4月から加治木工業 高校ラグビー部の監督も務めています。 「子どもをいち早く大人にし、大人に永 遠の子どもの魂を抱かせる」というラグ ビーの格言のとおり、指導者として生徒 にラグビーの楽しさを伝えながら、選手 の自主性や精神力を育成しています。

今後の目標は?

今年の県高校新人大会で準優勝しまし た。11月の県予選を勝ち抜き、悲願の 花園出場をめざしています!



★白鳥 暁美さん(29歳) (旧姓:四枝)

英語弁論・ディベート大会で大活躍 ~大口明光学園生徒~



忠元公園近く、桜並木が続く道路沿いにある 大口明光学園。この学園では英語教育にも力を 入れており、今年も県内で行われた英語各種の 大会で好成績を収めています。

第60回高円宮杯全日本中学校英語弁論大会 鹿児島県予選1位、県中学高校英語ディベート 大会中学の部1位・高校の部2位、県高校英語 弁論大会2位など数々の好成績を上げ、それぞ れ全国大会・九州大会に出場が決まりました。

先生たちも、県外の生徒と英語の力を競って、 さらにレベルの高いものを吸収してくれること を期待しており、全国大会等での生徒たちの活 躍が注目されます。

当時を振り返って

シスターの授業が楽しくて、英語が好きにな りました。県代表として英語弁論の全国大会に 出場したとき、他県代表者のレベルの高さに驚 きました。私ももっと語学力を磨きたいと強く 思ったきっかけでしたね。

現在は?

山梨県のレジャー業・運送業などを行う総合 会社に就職し、現在はテーマパークに出向して います。

結婚を機に山梨県に移住したんですけど、

もっと語学力を活かしたくていまの会社に転職し ました。外国人のお客様をご案内する機会も多く、 英語でのコミュニケーションを通して文化の違い も感じられるので、とてもやりがいを感じていま す。

充実されていますね!

学生時代は、英語を使う職業に就きたいとは 思っていませんでした。でも、勉強を続けたおか げで、語学力が自分の長所になりました。好きな こと、興味があることを突き詰めてチャレンジす ることが大切だなと改めて思います。

紙面で振り返る伊佐の出来事



No.101 (2013.02)

「伊佐市公認キャラクター」認定1号2号 (p 2-3)

イーサキングが広報紙に初登場!

実は、イーサキングは伊佐市公認キャラクター認定 第2号なんですよ!



No.169 (2015.12)

第30回国民文化祭・かごしま2015 (表紙)

平成 27 年11月14・15日、『カンヅメ少年と「いざ!」いさ宝さがしの旅』公演。市民劇団員がさまざまな"かぶりモノキャラクター"に扮して伊佐の魅力を探す創作劇で、笑いあり、涙ありのストーリーに会場一体となって大盛り上がり。



No.241 (2018.12)

伊佐市市制10周年記念式典 (p 2-3)

市制10周年を祝い、記念式典が開催されました。 「生まれて10年 このさき10年 君と共に育つまち」 これからも伊佐市の発展のために「オール伊佐」で 取り組んでいきましょう。



No. 21 (2009.10)

第63回県民体育大会伊佐大会 (p 2-3)

平成 21 年9月19・20日に行われた県民体育大会の 様子を紹介。県民体育大会の各地区の持ち回り開催は、 この大会が最後となりました。

大会スローガン「走れ とべ みどりの風と手をつなごう」



No. 139 (2014. 09)

暑い夏!伊佐に日本代表集結(表紙)

平成 26 年8月1・2日、 車椅子バスケットボール 日本代表チームが伊佐市 で合宿を行いました。 3日には紅白戦が開催され、車椅子同士が激しく ぶつかる迫力のプレーに、 800 人の観客が熱狂し ました。

No.175 (2016.03)

記録的寒波

氷点下15.2度(表紙)

平成 28 年1月25日早朝 の「マイナス15.2℃」は、 鹿児島県内の観測史上1位 の最低気温。さすが"鹿児 島の北海道"…。



→過去の広報いさは、市ホームページや

図書館でご覧いただけます。 この機会に、思い出を

振り返ってみませんか?

